

平成 25 年度 国有林モニター会議 アンケート結果概要

対象者：国有林モニター会議参加者（19名）

国有林モニター会議終了後、概要説明や現地視察及び配付資料に関するアンケートを実施したところ、以下のような回答が寄せられました。

同種の回答はまとめました。

10月26日（土）の国有林モニター会議について

問1 綾の照葉樹林プロジェクトの概要説明（午前）の感想

まとめ

寄せられた回答から多くの方に、綾プロの目的と協働体制についての理解を深めていただけたことが分かります。しかし、「協定を締結している他の方たちの話を聞きたかった」、「概要説明の前に林野庁の概要や政策についての説明があった方が良かった」等の感想が出されました。

回答例

- ・官民の協働がうまくいっているケースであり、自分の地域でもそうありたいと思う。
- ・間伐を職員だけではなくボランティアと一緒に取り組む方法は、国民全体で盛り上げていく上で、とても良い方法だと思った。
- ・一般市民、民間企業を含めた大きな力のプロジェクトの協働のすばらしさがわかった。
- ・ユネスコエコパークの登録という、すばらしい成果を綾町の地域運動で、なしとげる過程がよくわかり、とても感動した。
- ・現地視察の前にプロジェクトの概要の説明があり、よかった。
- ・森林管理署からの説明の中で、他の地域と異なり、ここでは「てるはの森の会」の方々の活動がとても大きい、という話があった。できれば次回は、「てるはの森の会」等、協定を締結している他の方たちの話を聞ければと思う。
- ・説明の内容は、事前に配布された資料もあり、理解しやすかった。
- ・概要説明の前にもっと大枠の説明があった方が良かったと思った。例えば、農林水産省・林野庁の概要やその政策についての説明。
- ・綾の照葉樹林プロジェクトに関する具体的な計画を知ることができた。綾の照葉樹林については大変興味を持っていたが、人工林から天然林への樹種転換に取り組み照葉樹林の再生へ向かっていることが分かった。

問2 綾の照葉樹林プロジェクト・間伐箇所の現地視察（午後）の感想

まとめ

綾の照葉樹林プロジェクト・間伐箇所を現地視察し、「貴重な遺構も残されており教育ゾーンに最適と感じた」「自分の目で確認でき良かった」等の感想がありました。また、「歩道の整備が必要と思われる」の意見が多くありました。

回答例

- ・セラピーロードとしてとても良いコースだと思う。年齢や障害の有無にかかわらず、幅広い対象をするには、歩道の整備など必要と思われるが、あまり開発しすぎない事が重要。
- ・間伐体験ほか本庄川沿いでワークショップを行う環境に恵まれ、貴重な遺構も残されており教育ゾーンとして最適と感じた。
- ・50年前にこの地で林業や鉱業を行い、集落があったことに驚いた。綾の照葉樹林の中を歩き、太古の日本の風景に近いものに少しだけ触れることができ充実した体験ができた。
- ・木の名前を覚えてなかったので、途中もう少し木々の名前、植生等の話を聞きたかった。
- ・全体のスケジュールの都合もあったと思うが、もっと時間をかけてゆっくり説明を聞きたかった。
- ・地域の方々と創り上げたエコパークを多くの方に知って欲しいと願う。
- ・自然を保ちながら人間と共存し、次世代の子供達の自然教育に生かされている事が良かった。
- ・自分の目で確認でき良かった。
- ・外側から見る森林と、内側に入るとの森林の空間の違いを、実際に見ることによって間伐の大切さがわかった。
- ・照葉樹林に復元するためには、針葉樹の間伐の度合いが遅いように思う。

問3 国有林モニター会議全般の意見

まとめ

全体として、参加して良かったとの感想が聞かれました。しかし、意見交換については、現地視察で時間が押してしまい、時間が足りず十分に発言できなかったという方もおり、全体的に検討・調整が今後の課題となります。

回答例

- ・どんな人が参加するのかと思ったが、皆いろんな勉強をしていた。
- ・会催場所、内容とも良かった。欲を言えば、森林や山について真剣に考え、活動をしている方々と会う事の出来る絶好の機会でもあったので、皆と話できる時間がとれたらもっとよかった。
- ・意見交換の時間を次回は、充分とってほしいと思う。
- ・参加者だけを5～6名のグループ分けして、自由な意見交換の場（時間）も欲しい。
- ・初めての参加であるが、有意義なものであった。
- ・往路の車中で自己紹介の時間を取ってもらったことは、非常に貴重で有効であったと思う。加えて主催者側も現在の所属だけでなく、出身や仕事への思いを語って頂けると、もっとフレンドリーの深い交換が適ったのではないかと想像した。
- ・モニター会議に出席しなければわからないことが多く、「出席の価値」を感じた。
- ・国有林の管理、保全がどのようになされているか勉強になった。もっと詳しく学んでいきたいという気持ちがあった。
- ・国有林事業に関する説明の中で、特別会計から一般会計へ移行した中での説明で、「公益重視」と「森林・林業再生」などでの説明は、ちょうど勤務している学校の地理Bの授業で、次週が森林に関する授業となっており、大変参考になった。また、綾については以前から興味があり、今回照葉樹林について学んだことを学校の授業でも反映させていきたい。

問4 国有林モニターを続けられるとした場合、来年の参加希望

まとめ

現在、国有林モニターの依頼期間を1年としており、今後、依頼期間を2年とするのか検討するための資料とさせていただきます。

- ・希望する 15
- ・希望しない 1
- ・未回答 2

問5 その他、意見を言い足りなかった点、わかりにくかった点等

まとめ

当日の主題であった「綾の照葉樹林プロジェクト」以外の部分でも、多くの国有林モニターの方から意見や期待が寄せられました。今後、資料の配付などを通じて、情報の発信に努めて参ります。

回答例

- ・森林の70%近くは私有林と聞いた。住民に対しても遠慮せず、言うべき事は言う、やるべき事はやってもらう、協力する事はする、という強い態度で臨んでもらいたいと思う。
- ・現地視察だが、間伐箇所の視察はよかったが、できれば、もっと深い森（綾独自の）を見学したかった。
- ・モニター会議の開催を、年2回以上お願いする。
- ・山の保水能力を高める為、人工林の間伐と照葉樹との混植など、山くずれしにくい方法を多くの関係者に教えて、それが林業の仕事となればと思う。
- ・今回、現地の時間の案内を職員の方にしてもらったが、地元で活動している方の案内もあると思う。登山にしてもトレッキングにしてもガイドとして人を案内する場合は、安全管理や話し方などそれなりのスキルが必要となる。職員の方もこれからそのようなスキルが必要かと思う。
- ・折角の機会なので、正しい理解に担保された有用なサポーターになって頂くことも大事。

配布した参考資料について

問 配布した資料に対する意見・感想

まとめ

総体として適切であったとの意見が多く出されました。また、今回のような資料を目にすることがなく、公共の場にも置いて欲しいとの意見もあり、広く情報を発信することが求められました。

回答例

- ・総体として適切であったと思う。
- ・森林管理局の考え方、方針、取り組みが理解できる。このような資料を各種公共の場に置いてほしい。情報があふれる世の中で、森林・国有林の情報はほとんど目にする事はない。皆、興味がないと言うよりも知る機会がないと思う。
- ・各森林管理署の問題点、又これから取り組む課題がよくわかり、モニターとしても、これから学習研鑽に意欲がわく。

- ・家に帰ってから、ゆっくり目を通した。会議での説明をつながけながら見ると、とてもわかりやすかった。樹木の種類、名前だけでも充分知識が増え、これから森林を見る目が変わると思う。
- ・パワーポイントを使用した説明だったので配付資料の中に、説明に使用したものと同じ資料が全部あればありがたかった。

その他

問 その他。国有林や森林・林業全般に対する意見、要望等

まとめ

森林・林業の再生、森林環境教育の充実など多様な意見・要望がありました。国有林においても一般の方が参加できるイベントを多数実施・広報する事により、まず知る機会をつくることや、国有林モニター制度で、国有林や森林・林業について PR していくことが多く求められました。

回答例

- ・伐採適齢期の森林が多く、一方では世代が変わり「森林を知らない」所有者が増えている。森林に入る人も激減した。これは、2000 年来、日本の歴史でなかった事態ではないだろうか？今が、日本の森林行政にとって最も大事な時期であり、かじ取りによって、チャンスにもピンチにもなる。本当に大切な時期だと思う。
- ・国に希望することは「林業の再生」。林業は、儲かるという仕組みを作り、林業に従事する人を増やすこと。そして、植林、間伐、主伐のルールを明確に決めること。そうすれば、自然に「森林が再生」するのではないだろうか。
- ・森林環境教育を充実してほしい。まず知る機会を与えなければ理解もしない。意見も出てこない。実施する時は、テレビ局にも案内し、ニュース等で放送してもらいたい事ではないか。林業をしている友人も、この様な資料・パンフレットがなぜ無いのかなと言っている。外に向けて発信し、多くの人に知ってもらい、多くの意見を吸収すべきだ。
- ・九州山地など水分嶺にある国有林については、国土保全や国民の憩いの場の提供などの公益性を重視した事業にシフトすべきだと思う。
- ・経年変化を押さえる意味とモニターからサポーターに脱皮成長させる意味合いを込めて、複数年に渡る「モニター」活動をご検討願えればと思う。
- ・林業に就業する人が増え、生活できることが可能になるように検討をお願いします。
- ・森林と水源のかかわりをもっと知りたいと思った。
- ・森林教育等の公益推進の事業に期待している。
- ・子供達の中にも樹木の名前を知らない子も増えており、教育の場での樹木とのふれあいの機会や遠足などで森林体験などを試みる機会を学校とタイアップして行ってはどうか。
- ・各地の森林で、鹿が増えて樹林を食い荒らす実態が報告された。環境保護と動物との共生は、人類に課せられた大きな問題。

以上